

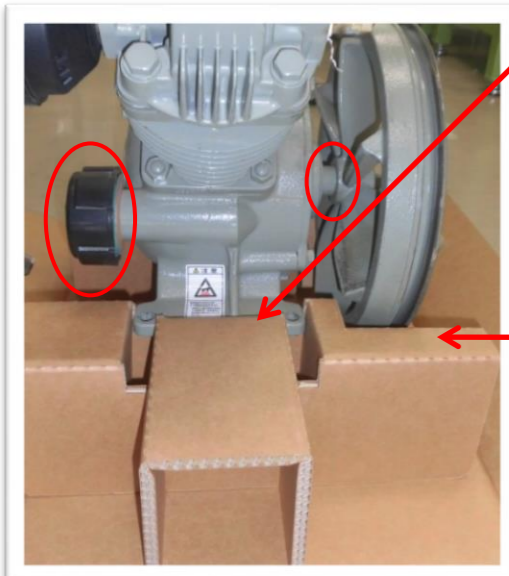
強化段ボールによる梱包作業および環境負荷の低減

▶ 旧梱包(木枠梱包)



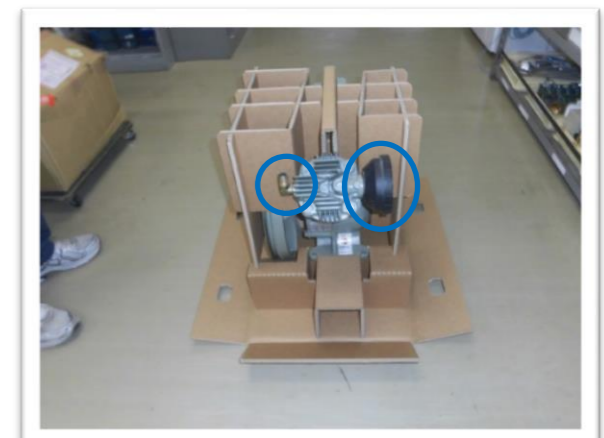
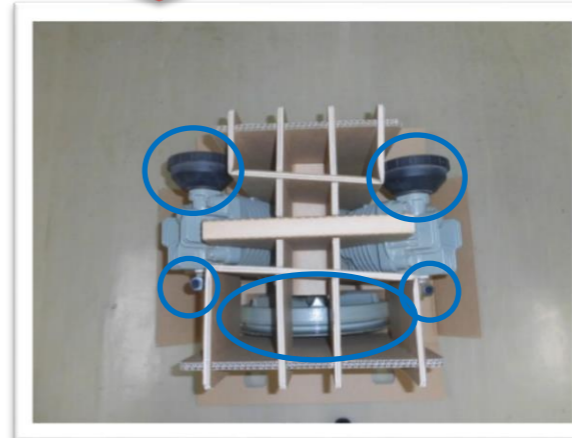
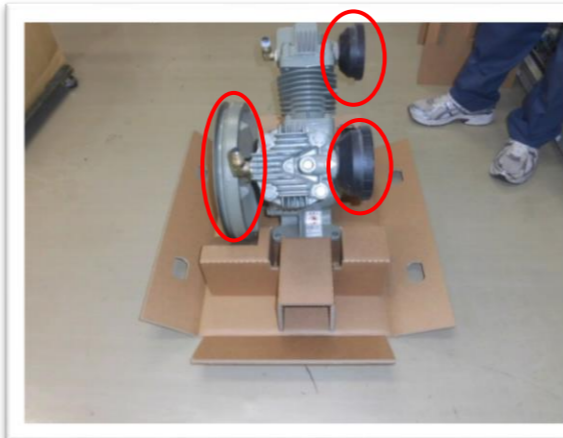
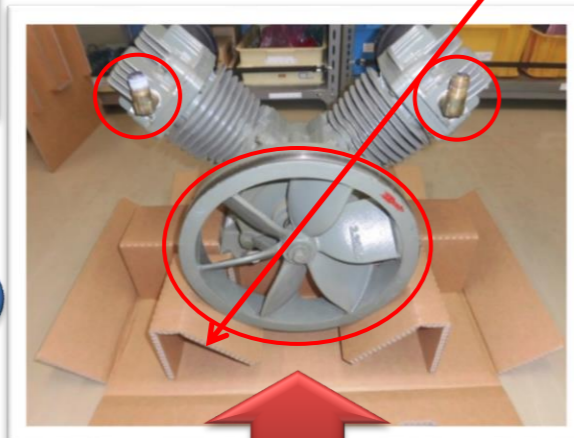
木枠梱包の問題点

- ・梱包・開梱時の工数
- ・クギと木材の分別（廃棄性の問題）



底パッドに製品の強い部分の固定台部が前後に固定される様に段差のある構造とした。

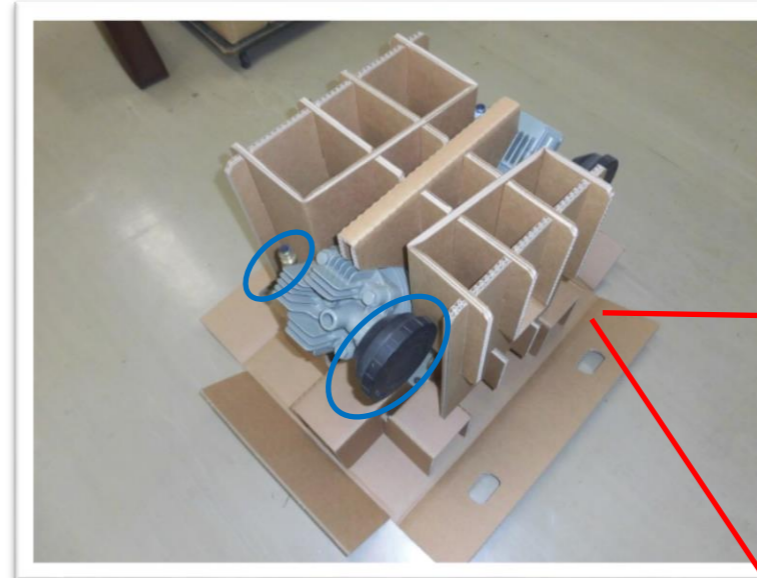
回転するプーリーと軸への受けを逃がしつつ、矢印側からの受けに対して、斜めの部材が効果的に活かしている。



- ：製品の弱い部分で受けが不可の箇所
- ：梱包時、弱い部分を逃がしている箇所



▶ 新梱包(ALL段ボール梱包)



製品の固定は、本体(鋳物部分)の強度の強い部分のみを強化段ボールで押さえている。

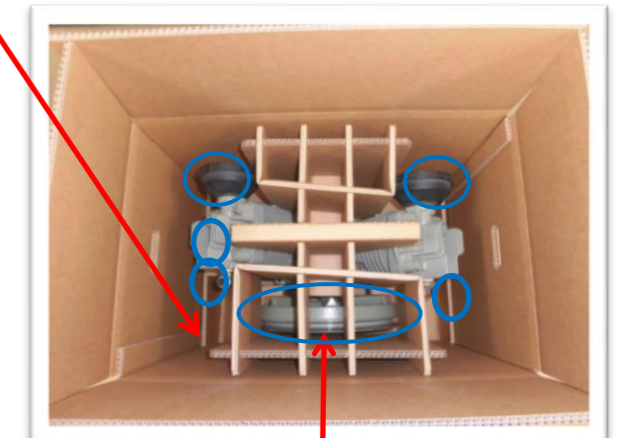
段ボール梱包の改善点

- ・貼り加工などない組み込み式の仕様⇒作業性向上
- ・ALL段ボールによる廃棄性の向上⇒環境負荷の低減

視覚的に製品を梱包しやすい構造



短手は被せる段ボールの内側に入れて長手面のジョイントは4か所のみとし、作業者の工数を低減。



回転するプーリーは段ボールで覆って保護しているが、非接触で押さえてはいない。

2017グッドパッケージングコンテスト
包装技術賞 テクニカル包装賞
受賞!